

令和4年度 学校評価報告書

学校番号(小15) 長崎市立南小学校

1 教育目標

自ら学び鍛え、励まし合う、心豊かな児童・生徒の育成

2 学校経営方針

「南小だからこそ できること」
 「南小だからこそ やらねばならないこと」

3 重点目標

「南小だからこそ できること」
 ・個別最適な学びの実現で、自ら求めて学ぶ子ども ・一人一人を大切に、家族のような学校に
 ・さらに深く地域とのかかわりを ・極少数人数での働き方改革

「南小だからこそ やらねばならないこと」
 ・多様な考えに触れる機会を与える ・大舞台での経験を自信につなげさせる ・あえて壁をつくり乗り越えさせる

4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	100	100	100	○「学校は明るく楽しい雰囲気である」の評価が高い。子ども一人一人を大切にして、子どもが安心して学校生活を送れるように、今後も継続して支援していく。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	100	100	100	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			100	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			100	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	100	100	100	○あはは運動の指導徹底を図り、子どもの意識を高めていく。 ○子どもたちは来校者にも、しっかり挨拶ができるようになってきている。また、地域でもいい挨拶ができていく。継続して、あいさつの素晴らしさ・大切さを伝えていく。
		挨拶をよくしている	100	100	100	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	100	100	100	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	100	100	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	100	100	100	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	100	100	100	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	100	100	100	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	100	100	100	
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	100	100	100	○特色ある学校づくりにおいて、児童・保護者・教職員全員が満点であった。 ○キャリア教育の意識を高め、本校の卒業生を招き、話を聞く機会をもった。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	100	100	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	100	100	100	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	100	100	100	
長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである		100				

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	100	100	100	○基本的習慣の定着について、SHLの先生とも協議して、指導していくようにする。 ○体育の中で、なわとびや持久走にも力を入れ、体力が向上した。
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている	100	100	100	
		体力向上に努めている	100	100	100	
	食育	食に関する教育活動を行っている	100	100	100	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	100	100	100	○育友会・地域の方との連携を今後も密にしてい く。HPや通信等を通して、情報の提供に努める。 ○職員数は少ないが、一人一人が意欲を持って、授業研究を行った。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	100	100	100	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	100	100	100	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			100	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	100	100	100	○安全推進委員会・服務規律委員会を毎月必ず実施し、働きやすい職場づくりに努めた。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる				

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

すべての項目において、児童・保護者の方から肯定的な評価を得ることができた。これは、「南小だからこそ」の学校経営方針のもと、全職員で取り組んできた成果だと考える。特に、「学校は明るく楽しい雰囲気である」という項目では、児童・保護者・教職員のほとんどが「4」と高評価をしていた。授業中の個に応じた指導や職員と共に遊ぶ昼休みなどを通して、児童と教職員の信頼関係が深まったからだと思う。ただ、少人数のため、本音を言いにくいところもあると考えられるので、高評価に甘んじることなく、今後も児童・保護者とさらに信頼関係を高める努力をしていかなければならない。

今年度は、特に持久力向上に努めた。なわとびは通年、持久走は冬季に指導に重点を置いた。個人カードを活用し、自分の伸びがわかる工夫を行った。また、地域在住の元駅伝ランナーに学校サポーターとして、持久走の体力面・精神面の支援をしていただき、大変効果があった。

6 学校関係者評価

- ・子どもはもちろん、保護者からも評価が高い結果で、先生方がよくやっているという好評をいただいた。他校とのオンライン学習を参観していただいた。極小規模校における表現力やコミュニケーション能力の育成についての学校の取組を評価していただいた。また、年間を通した他校との交流の場の設定についても説明を行った。
- ・地域での子どもたちの様子では、子どもが少なくなりあまり会う機会がなくなってしまったが、会うと気持ちのよい挨拶がしっかりとできてきているということであった。
- ・次年度は、南小の閉校になるので、地域・保護者・学校が揃って、閉校記念事業に向けて取り組んでいきたいという思いを確認し合った。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

- ・閉校年なので、学校の歴史などを調べることで、学校に愛着をもち、また地域の方とのコミュニケーションをより一層深める。
- ・閉校後の子どもたちの進学先である茂木小や為石小などとの交流を学期に1回は行い、子どもたちとの交流を深める。
- ・情報発信に努め、学校の様子を広め、感心をもってもらえるようにする。

※「4 自己評価」の「項目」欄には、領域毎に空欄を設定している。ここには、重点目標に即し、学校独自の「評価項目」並びに「質問内容」を追加することができる。

＜参考例＞ 読書活動、豊かな体験活動、部活動 等

※「4 自己評価」のアンケートは、4段階で回答するようになっているが、そのうち上位2段階を肯定的回答ととらえ、その割合(整数値のみ)を集計する。